

成果主義における管理会計情報の役割

内山 哲彦（千葉大学法経学部）

uchiyaama@le.chiba-u.ac.jp

報告目的

組織運営において現在求められているのは、全社的目標整合性を確保しつつも、自律性を高めるために権限・責任を下位組織へ委譲するとともに、そこでの目標達成へと組織構成員を動機づけ、目標達成への最大限の努力と創意を引き出す組織マネジメントの仕組みである。

組織競争力の源泉は、組織構成員ひとりひとりの貢献に求められるが、現在、労務管理の分野では、その貢献に基づいた報酬の付与、すなわち成果主義への移行が見られる。そこでは何よりも、納得性の高い、効果的・効率的評価システムが求められ、管理会計情報への役割期待が大きい。一方、管理会計の分野においても、戦略実行のために、事業戦略と組織業績評価、さらに個人業績評価との明示的なリンクが求められている。

すなわち、上記組織マネジメントの構築のためには、人事・報酬システムを含めた経営戦略・事業戦略と業績評価システムとの一体化が模索されなければならない。しかし、管理会計システムと報酬システムとのリンクについては、「日本的経営」などを背景にこれまでほとんど検討されてこなかった。

本報告の目的は、以下の2点である。

会計的組織業績評価と、個々人の報酬を決定する個人業績評価とのリンクを3つに類型化するとともに、各類型の事例を挙げる。

各類型それぞれの特性を踏まえ、管理会計情報利用の利点と問題を検討する。

報告の構成と概要

1. はじめに

2. 定義

成果主義や報酬システムに関して、論者により様々な意味で言葉が用いられる。ここでは、報告内容を規定する点からも、成果主義、業績（評価）、報酬について定義する。

3. 成果主義の背景

成果主義導入の背景について、主に労務管理・報酬システムの視点から検討する。

4 . 3 類型の様相と事例

管理会計システムと報酬システムとのリンクにおいては様々な例が見られるが、ここでは会計的組織業績評価と報酬決定のもとになる個人業績評価との関係づけを3つに類型化するとともに、その内容を説明し、事例を挙げる。

5 . 3 類型における利点と問題 管理会計情報の利用

3 類型それぞれの特性から、各類型において管理会計情報がどのような役割を果たし、また問題を有するのか検討する。

6 . 展望と課題

< 主要参考文献 >

Atkinson, A.A., R.D.Banker, R.S.Kaplan and S.M.Young, Management Accounting, 3rd ed., Prentice-Hall, New Jersey, 2001.

Baron, J.N., D.M.Kreps, Strategic Human Resources: Frameworks for General Managers, John Wiley & Sons, New York, 1999.

Gratton, L., V.Hope-Hailey, P.Stiles and C.Truss, "Linking Individual Performance to Business Strategy: The People Model," Human Resource Management, Vol.38, No.1, Spring 1999, pp.17-31.

Hilton, R.W., M.W.Maher, F.H.Selto, Cost Management: Strategies for Business Decisions, Irwin McGraw-Hill, New York, 2000.

Martocchio, J.J., Strategic Compensation: A Human Resource Management Approach, 2nd.ed., Prentice-Hall, New Jersey, 2001.

Merchant, K.A., Modern Management Control Systems: Text and Cases, Prentice-Hall, New Jersey, 1998.

伊藤秀史「インセンティブ理論の見地から見た日本企業の人的資源のマネジメント」(Aoki, M. and R.Dore ed. The Japanese Firm Sources of Competitive Strength, Oxford University Press, New York, 1994. NTT データ通信システム科学研究所訳『国際・学際研究 システムとしての日本企業』NTT 出版, 1995 年 所収)。

内山哲彦「管理会計における2つの業績評価 組織業績評価と個人業績評価の関係性」『三田商学研究』第43巻第5号, 2000年12月, 131-150ページ。

高橋俊介『成果主義』東洋経済新報社, 1999年。

(当日、レジユメを配布いたします)